

社会資本総合整備計画

いしのまきしちゆうしんしが いちかっせい かちく
石巻市中心市街地活性化地区

みやぎ いしのまきし
宮城県 石巻市

平成22年11月

都市再生整備計画(第1回変更)

いしのまきしちゆうしんしがいちかっせいかちく
石巻市中心市街地活性化地区

みやぎけん いしのまきし
宮城県 石巻市

平成22年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	みやぎけん 宮城県	市町村名	いしのまきし 石巻市	地区名	いしのまきし ちゆうしんが いちかつせいからく 石巻市中心市街地活性化地区	面積	46.8 ha
計画期間	平成 22 年度	～	平成 25 年度	交付期間	平成 22 年度	～	平成 25 年度

目標

- 大目標：都市機能の再配置とストックの活用による中心市街地へのにぎわいの再生を目指す。
- ①石巻駅周辺を市民や来訪者が安全快適に利用ができ、集い憩いの空間としての魅力を高める。
 - ②市民や観光客が「萬画」の魅力を楽しみながら回遊し休息のできるまちなかを形成する。
 - ③公共空間を活用し商業者の積極的な取り組みを促し集客力の向上による商業活力の再興を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 石巻市は、本州の東北、宮城県東部の太平洋沿岸地域に位置し、都市機能の集積、人口流入など石巻広域圏の中心となる市である。その中でも本地区は、JR石巻線、仙石線、気仙沼線の乗換駅であるJR石巻駅を中心に栄えて、市役所を始めとする行政機能、商業・業務機能及び文化機能が集積してきた地区である。
- 「浪漫商都ルネッサンスマンガ的発想が人を呼ぶ街づくり」をテーマとして平成11年3月に旧法に基づく中心市街地活性化基本計画を作成し、TMOとして「株式会社街づくりまんぼう」を設立し、市街地の整備改善と商業等の活性化を軸にした各種の事業等に取り組んできた。
- 中心市街地内には、立町大通り商店街、橋通り商店街、アイトピア商店街、駅前大通り商店街など8箇所の商店街が形成されている。
- 商業統計調査によると、中心市街地内の店舗数、小売業従業員数、小売業年間商品販売額ともに減少傾向にある。
- 中心市街地内の8商店会の空き店舗数を見ると、平成20年現在51店あり、総店舗数に占める割合は14.7%である。
- 中心市街地の観光施設としては、石巻観光情報の発信基地たる石巻市観光物産情報センター、石ノ森萬画館等、市内の主要なスポットが位置している。また、JR石巻駅から石ノ森萬画館まで約1kmの通りは、いしのまきマンガロードと称して石ノ森キャラクターのモニュメント等が設置され歩行者を楽しませている。
- 平成13年にマンガによる地域文化の発信拠点、市民が交流できる「マンガで結ばれるまちづくりステーション」として、中心市街地の活性化を目指し石ノ森萬画館が整備され、平成16年には中心市街地の観光客数は市全体の半数以上を占める約10万人が訪れていた。しかしその後、石ノ森萬画館利用者の減少とともに中心市街地への観光客自体も減少の傾向にあり、加えて商店数、定住人口、歩行者・自転車通行量も減少してきたため、中心市街地の活力が低迷し、平成20年には、石巻駅前にあるさくら野百貨店が閉店に至っている。
- さくら野百貨店の建物については、老朽化した市役所機能移転先として決定し、市民ボランティア拠点の整備などを合わせて現在移転に向けた取り組みが進められており、中心市街地活性化の新たな起爆剤として期待されている。
- これに伴い、駅周辺には多くの市民などが訪れることが予測されるが、駅周辺は来訪者が憩い交流できる空間としての魅力が乏しく、新しいまちなか拠点としての再生に向けた取り組みが求められている。
- また、中心市街地においては、駅前への市役所機能移転と運動した商業などの活性化を目指し、商業者、地元住民組織等により検討作業が行われるなどしており、地区全体のまちづくり気運が高まってきているところである。
- 平成21年度に実施した市民アンケートによると、中心市街地へ出かける利用頻度については、「ほぼ毎日」が5.1%、「週に3～5回」が6.6%、「週に1～2回」が17.2%と、市民の中心市街地と日常生活との関わりが少ない傾向にある。

課題

- 市民協働の場を併せもつ市庁舎が石巻駅前に移転することで、これまで以上に駅周辺利用者の増加や交通混雑が懸念されることから、石巻駅周辺が安全快適に利用しやすい都市基盤を整備する必要がある。
- これまでもマンガを活かしたまちづくりを進めてきているが、石ノ森萬画館やマンガロードのリニューアルが必要な時期となってきていること、また、まちなかでゆっくりと休憩のできる場所がないことから、まちなかを回遊するための魅力づくりが必要である。
- 中心商店街は、モータリゼーションの進行や郊外部への大型店立地により、空き店舗や空き地が多くなるなど商業活力の低下が著しいことから、商業者自身が積極的に集客の取り組みをすることのできるための環境整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 石巻市総合計画において、本市の将来像を「わたしたちが創りだす 笑顔と自然があふれる 元気なまち」とし、中心市街地については基本方針3 地域資源を活かして元気産業を創造するまちの中で、人々が集い、住み、楽しく過ごせる中心市街地の再生を目指すこととしている。
- 石巻市都市計画マスタープランにおいて、まちづくりの将来像を「地域の魅力や個性を活かした にぎわい あふれるまち 石巻」とし、中心市街地については都市核拠点として、商業機能や行政サービス機能、業務機能だけでなく、居住機能や多くの人が集まる多様で楽しめる機能を集積し、石巻市の顔として活性化を目指すこととしているほか、まちなか商業・業務地として、多様な都市機能と業務中枢機能の集積のほか、昔ながらの商店街の復活などにより、まちなかの再生を目指すこととしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
中心市街地へ出かける頻度が「ほとんど行かない」と回答した割合	%	市民アンケート調査における「中心市街地の利用状況」の設問で、「ほとんど行かない」と回答した人の割合	市庁舎の移転やコミュニティ機能の併設、広場の整備や魅力的な店舗の集積など、駅前の利便性の向上により、市民がどのくらい中心市街地の魅力が増加したかを判断するため。	42.6	平成20年度	平成25年度
歩行者・自転車通行量	人/2日	12調査地点における平日・休日2日間の中心市街地の歩行者・自転車通行量(歩行者・自転車通行量調査の調査日については、平成20年度の実施調査日である、休日が5月第3日曜日、平日が5月第3日曜日の週の木曜日で統一して行うこととする)	魅力的な店舗やストリート等の整備など、街なかの回遊性の向上により、市民、観光客などの多くの来街者による賑わいを判断するため。	18,129	平成20年度	平成25年度
空き店舗率	%	8商店会の総店舗数における空き店舗の占める割合	公共空間を活用したまちなかの商業として、個性の豊かさや魅力の向上による来街者の増加に伴う、商業の活力度を測るため。	14.7	平成20年度	平成25年度

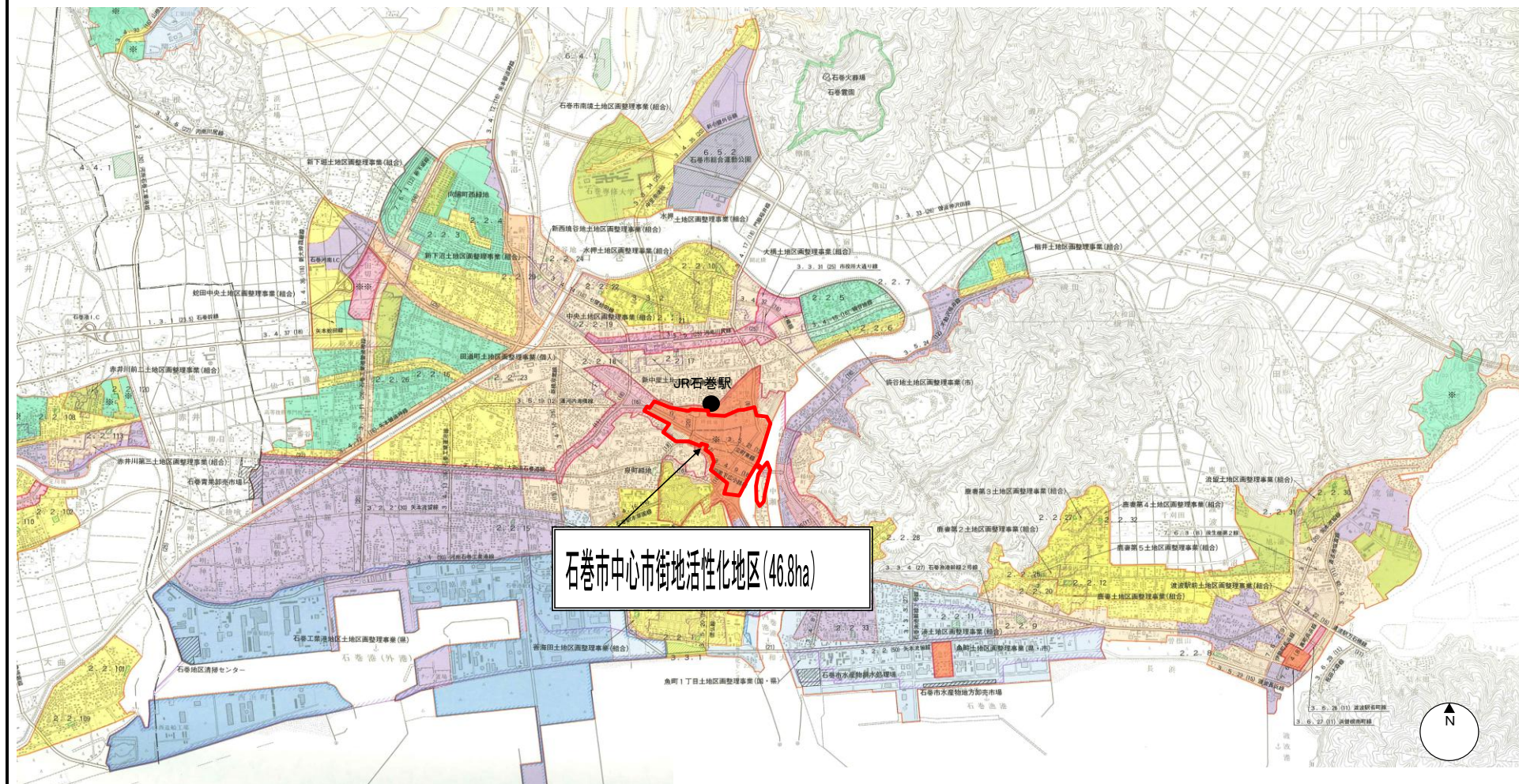
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>①石巻駅周辺を市民や来訪者が安全快適に利用ができ、集い憩いの空間としての魅力を高める 市役所の駅前移転に伴う利用者の増加や交通混雑の懸念に伴い、石巻駅周辺の交通環境の強化と溜まり空間としての魅力を高め、安全性や利便性の高い駅前環境づくりを進める。</p>	<p>公園(石巻駅前にぎわい交流広場整備事業) 地域生活基盤施設(石巻駅前駐輪場整備事業) 高質空間形成施設(石巻駅前緑化整備事業)</p>
<p>②市民や観光客が「萬画」の魅力を楽しみながら回遊し休息のできるまちなかを形成する 石ノ森萬画館や石巻の地名の由来と言われる「巻石」のある住吉公園などの地域資源を活かし、市民も観光客もまちなか回遊を楽しみ、気軽に石巻の魅力を感じていただけるまちなかをめざす。</p>	<p>公園(住吉公園整備事業) 地域生活基盤施設(案内標識整備事業) 高質空間形成施設(マンガモニュメント整備事業) 事業活用調査(歩行者・自転車通行量調査)</p>
<p>③公共空間を活用し事業者の積極的な取り組みを促し集客力の向上による商業活力の再興を図る 活力が停滞し空き店舗が散在している商店街において、多彩な食材の宝庫である石巻の「食」を活かすことのできる食彩通りの整備や誰もが活用のできるまちなか広場設置をきっかけとして、事業者を中心とした積極的な事業展開やイベント等の開催による集客力と商業活力の再興を図る。</p>	<p>道路((仮称)食彩通り整備事業) 公園(まちなか広場整備事業) 地域創造支援事業(社会福祉協議会ビル解体事業) まちづくり活動推進事業(まちなか広場活用ワークショップ事業) まちづくり活動推進事業(まちなか広場活用イベント開催事業)</p>
<p>その他</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中については、庁内各課が一体となり各種整備を着実に実施するものとし、その取り組みの進捗状況や事業の成果について庁内のまちづくり活性化推進会議にて評価や改善を検討し、その結果を広報及びホームページ等を通じて広く市民へ伝えることとする。</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動について 事業終了後も中・長期の目標達成を目指し、石巻市中心市街地活性化協議会との連携を継続させ、官民協働のまちづくりを目指す。</p>	

都市再生整備計画の区域

いしのまきしちゅうしんしが いちかつせいかちく みやぎけんいしのまきし 石巻市中心市街地活性化地区(宮城県石巻市)	面積 46.8 ha	区域 石巻市立町一丁目 ほか
---	------------	----------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



石巻市中心市街地活性化地区(46.8ha)

石巻市中心市街地活性化地区(宮城県石巻市) 整備方針概要図

目標	①石巻駅周辺を市民や来訪者が安全快適に利用ができ、集い憩いの空間としての魅力を高める。	代表的な指標	中心市街地へ出かける頻度で「ほとんど行かない」と回答した割合 (%)	42.6 (H20年度)	→	30.0 (H25年度)
	②市民や観光客が「萬画」の魅力を楽しみながら回遊し休息のできるまちなかを形成する。		歩行者・自転車通行量 (人/2日)	18,129 (H20年度)	→	17,000 (H25年度)
	③公共空間を活用し商業者の積極的な取り組みを促し集客力の向上による商業活力の再興を図る。		空き店舗率 (%)	14.7 (H20年度)	→	12.0 (H25年度)

